しんせき夢マップ

16 縄文の鳥居(大関)

縄文の道への基点

15 縄文の道(大関)

能代川(九十九曲川)を渡り、観音山を経て、「木もれ陽の遊歩道」へと続く。

14 百段坂と観音山散策(小口)

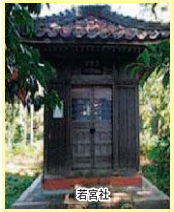
若宮御廟への階段、観音山散策コースへの入口。丈頂上の見晴らし台から新関全景と、五頭連峰、飯豊連峰などの山々を望む。

13 仁王門(小口)

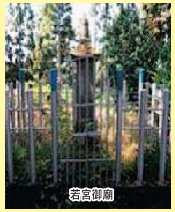
延享3年(1747)建立、鉄くぎは一本も使われていない。

12 若宮社と若宮御廟(小口)

承久の乱(承久3年(1221))で敗れた順徳天皇は佐渡に配流された。第二皇子(若宮)が天皇追慕の念やみ難く、寺泊まで来たが波風荒く、渡海ができず、追っ手を避けながら小口まで逃避された。しかし、追及の厳しさに最早逃れがたきを悟り、小口山にて自害された。御年16歳。遺命により、随臣二平氏、遺骸を懇ろに葬り、祠廟を建立した。



若宮社



若宮御廟

佐渡に流された順徳天皇の第二皇子(若宮)を祀った若宮社と御廟が並び建つ。また、山麓に若宮の守佛を本尊とする観音堂があり、33年毎に「御開帳大祭」が盛大に行われる。

10 道しるべ(金屋)

「右ハ八ツ梅　左ハにがた」と記してある珍しい道しるべ。

11 庚申塔(金屋)

秋葉区最古と伝えられる。無病息災を祈願し、建立された石塔

9 忠魂碑と旧新関村役場跡の碑(下新)

新関村から出征し、お国の為に勇敢に戦い、戦死した多くの英霊が眠る。

かつては下新駐在所の隣に村役場があった。

8 寺社稲荷と九頭竜権現(金屋)

元和元年(1615)大安寺の盛岩寺開山の折、村松、慈光寺13世玄教和尚の伴をし来村され、この地に定住し幾代にも渡り庄屋を務めていた頃に勧請されたと伝えられる。左の庇の返った切妻造りの石祠は寺社稲荷、右に並び立つ石塔は、霊山戸隠山を源とする「九頭竜権現」、古くから豊穣祈願の信仰が篤い。(山村家所蔵)

7 天王様(大関)

祇園牛頭天王(京都)の分神。疫病の神として祀られる。

6 変則五差路(市新)

近年、珍しい五差路が今でも残っている。

早出川

早出川は、その源を矢筈岳に発し、杉川や仙見川等の支川を合流し、五泉市(旧村松町)を経て、阿賀野川と合流する流域面積264.0km²、流路延長44.8kmの一級河川である。平成12年(2000)に完成した捷水路改修事業の掘削土によって、金屋地先に中水護岸が設置され各種イベントなどに利用されている。

能代川

九十九曲川と呼ばれるほど蛇行の激しい川であり、石油の運搬に活用された川でもあった。過去、幾度となく大水害を繰り返してきたが、「激甚災害対策特別緊急事業」として昭和58年7月、17年の歳月を費やし、新潟県の河川改修史上に残る大工事の末、改修工事は完成をみた。

阿賀野川

福島県の荒海山を源流とし、会津地方で阿賀川(又は大川)、新潟県に入ると阿賀野川と呼ばれる一級河川である。阿賀町津川で常浪川と、新関金屋付近で早出川が合流、さらには秋葉区満願寺付近で一部は、小阿賀野川に分流し信濃川へ繋がるが、阿賀野川自身は新潟市北区松浜付近で日本海に注ぐ。
阿賀野川は信濃川とともに、広大な新潟平野を作った河川であり、江戸時代は津川湊から新潟湊まで舟運で栄え、会津藩への物資輸送の動脈となっていた。過去幾多の大水害では甚大な被害をもたらし、住民を苦しめたが、現在は整備され、環境も整っている。

1 六郷の池(へらぶなの池)

釣りマニアの間では知る人ぞ知る、へらぶなの名所県内外から大勢の太公望が艳え竿訪れる。南北400m東西50mの池

2 八幡宮(本殿)の彫り物(六郷)

瓦屋根の覆屋で保護されている流造の本殿には、たいへん凝った装飾が見られる。

3 渡し船着き場跡(新郷屋)

昭和52年(1977)に廃止された渡し船の船着場も近年新しく復元され、当時の説明掲示もされている。

4 明治天皇御野立所の碑(新郷屋)

明治11年(1878)9月、明治天皇北陸巡幸の折、川向いの分田から船に橋を架け、新郷屋に降り立たれた記録が残る。

5 新津金屋運動広場(金屋)

市内でも屈指のナイター設備を誇る野球場と、併設して手前にサッカー場があり、スポーツのメッカとなっている。連日数多くのアマチュアスポーツマンで賑わっている。